

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念があり、見やすいところに掲げている。 ○	理念を職員一人ひとりが、日々実践できるかどうか振り返る必要がある。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し、日々心において取り組んでいる。 ○	今後も日々理念の実践に向け取りくんで行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念は出来て間もないため、まだ浸透できていない。 ○	今後、家族や来園された方に分かりやすく説明し、理解していただく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設の行事の際は地域の方に呼びかけ交流を図っている。 ○	より一層地域との交流を深めるために、引き続き行事の際の呼びかけをしていく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小中学校のボランティア受け入れや地域の行事等に参加している。 ○	今後も地域行事の参加や地域教育期間との交流を続けて行く。

グループホームにしうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	にしうち敬老園としては、地域の行事の際、要請が無いので実施していない。	○	協力要請があれば取りくんでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義を理解している。	○	今後も自己評価、外部評価を活かし、より良いサービスが提供できるよう取り組んで行きたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者や活動の報告を毎回行っている。	○	今後も、運営推進員会での意見をサービスの向上に活かして行きたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	市の担当者と連携を図りサービスの質の向上に取り組んで行きたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護事業や成年後見制度についての資料をファイルし、読み合わせを行っている。	○	必要に応じて支援できるよう、より知識を身につける。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待の勉強会を行い。高齢者虐待の徹底防止に努めている。	○	今後も、虐待の徹底防止に努めていく。

グループホームにいう敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項の説明等詳しく行い、納得した上で契約の手続きを進めている。	○	今後も利用者や家族が不安を生じないよう、十分な説明を行い、納得した上で手続きを進めて行く。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の会話の中で意見や不満を聞いている。	○	今後も利用者の意見や不満を聞き、運営に反映させて行きたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、また電話にて利用者の状態を伝えている。またグループホーム便りを発行し、暮らしぶりを伝えている。	○	今後も継続して報告を行って行きたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関の棚に設置している。	○	意見箱を活用して頂くと共に、意見や不満等を表せるような信頼関係を引き続き築いていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に各職員の意見を聞き、運営に反映させている。	○	今後も続けたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の個別に対応できるよう、出来る限り勤務の調整に努めている。	○	今後も利用者や家族の状況の変化に対応した勤務のローテーションを継続していく。

グループホームにいう敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職の際は研修期間を設け、安定したサービスが提供できるようにしている。	○	働きやすい職場作りを行い、離職を最小限に抑え、馴染みの職員による支援を受けられるよう努めていく。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に積極的に参加できるようにしている。また、法人内で段階別の研修を実地している。	○	今後も継続的に研修へ参加していく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の他の同業者から勉強会への誘いを受けるなど、交流の機会を保つようにしている。	○	職員の勤務状況等も加味し、より積極的な交流を持てるよう努めていく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は、職員と業務上の悩みを話し合ったり、職員同士の親睦会をおこない、ストレスの軽減を図っている。	○	今後もストレスを軽減する取り組みをしていく。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員の努力や実績について評価をし、向上心を持てるよう働けるような配慮をしている。	○	今後も各職員が向上心を持って働けるよう配慮していく。

グループホームにいうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	サービス開始以前に本人と面接を行ない、本人自身の訴えや願いをよく聴き受け止めるよう努めている。	○	具体的な不安や願いと共に、呟きや表情から感じ取れることもきちんと注意していけるよう努める。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期の段階から、困っている事等を聴き、安心して利用して頂けるよう努めている。	○	今後も、安心して利用して頂けるよう努めていく。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の段階では、まず本人・家族の話をしっかりと聴いて、内容によっては他のサービス活用を勧めることも考え対応している。	○	今後も相談者の現状や思いに配慮し、真摯な対応を心掛けていく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学は積極的に歓迎している。また、可能であればサービス利用開始以前に、日帰りでもグループホームでの生活に参加してもらう機会を提供している。	○	今後も、本人が生活の場として馴染みやすいような配慮・取り組みをその都度検討する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の風習や、調理についての知識を教えてもらったり、それらを引き出すような問いかけをし、本人から学んだり支え合う関係を築いている。	○	今後も、本人から学んだり、支え合う関係を築いていく。

グループホームにしうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の日々の様子や変化などは家族に報告し共有して、支援の方法、対応について意見を交換している。	○	今後も、家族と積極的に交流を持ち、本人にとってよりよい支援を模索していく。また、家族同士の交流の機会も積極的に設けられるよう計画していく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの関係について本人・家族双方の意見を把握した上で、よりよい関係構築に配慮している。行事等には積極的に家族の参加を促し、本人と過ごす時間を楽しんでもらえるよう計画していく。	○	今後も、本人と家族がよりよい関係を築いていけるよう、双方が求める時間の共有や適度な距離の置き方に配慮していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、家族と会ったり、美容院等馴染みの場所に出掛ける機会を作っている。	○	今後も、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い利用者同士が交流を持てるように配慮している。また、孤立しがちな利用者には調理、盛り付け、洗濯物たたみの中で、皆の輪の中に入れてるようにしている。	○	今後も、利用者同士が関わり合い、支えあって生活していけるように、支援していく。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	相談があれば対応する。終了する際に、利用者や家族にその旨きちんと伝えるよう心掛けている。	○	特に関わりの継続が必要とされる利用者や家族に対しては、こちらからの働きかけも検討する。

グループホームにいうち敬老園

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	今後も一人一人の思いを大事にし、その人のペースで生活できるよう支援していく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	今後も継続して、生活歴の把握に努めていく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	今後も情報の共有を徹底し、一人一人の現状把握の努める。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○	今後も本人のよりよい生活のため、広く希望や意見を取り入れた介護計画の作成に努める。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要の関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	今後も、臨機応変な介護計画の作成、対応に努める。

グループホームにいう敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	些細なことも個別記録に残し、その場に居なかった職員にも情報が伝わるよう努め、実践や計画の見直しに活かしている。	○	今後も内容の濃い個別記録の作成に努め、実践や計画の見直しに活かしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が遠方の方への受診の付添い、趣味活動への付き添い等柔軟に対応している。	○	今後も要望や必要性に応じて柔軟な支援をしていく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	研修ボランティアや学生ボランティアを受け入れている。また、防災訓練には地域消防団へ協力をお願いしている。	○	今後も利用者のニーズを確かめつつボランティアの内容も具体的に検討したい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現状では、利用者の中に他のサービス利用の必要性を把握していないが、必要があると判断できる場合は検討していく。	○	必要があると判断できる場合は検討していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現状では、利用者の中に必要性を見い出していないが、必要があると判断できる場合は検討していく。	○	地域包括支援センターとのつながりを維持しつつ、必要があると判断できる場合は検討していく。

グループホームにしうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望を受け、かかりつけ医の同意を得て医療を受けている。また、各医療機関からの情報は保管し、個別記録と共に共有している。	○	ターミナル期も考慮し、かかりつけ医との情報共有・連携に一層努めたい。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医ではないが、認知症に詳しい医師と関係を築き、連携している。	○	よりきめ細やかなケア実践のため、医師との情報交換に努めていく。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に看護師を一名配置し、各利用者の日常の健康管理に努め、必要に応じて医療活用の支援をしている。	○	今後も、介護・看護で情報を共有しながら些細な体調の変化も見逃さないよう健康管理に努めたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際には、医療関係者と情報交換し、早期に退院できるように努める。	○	入院された際には、利用者本人の不安・ダメージ等を考え、早期退院に向けて、医療機関と連携していく。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族に対し、終末期のあり方についてお話しした。今後、早い段階で各家族と重度化や終末期に向けた話をする機会を設ける予定。	○	早い段階から話し、方針の共有や安心の提供をしていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在、重度や終末期の利用はいないが、今後の変化に備え、事業所の「出来ること・出来ないこと」を見極める話し合いを検討している。	○	重度化や終末期の向け、かかりつけ医を含め話し合いを行い、重度化や終末期になった場合の、安心して生活していけるようにしたい。

グループホームにいうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	別の居所へ移り住む際には、これまでの情報を詳 しく伝え、本人へのダメージを防ぐよう努めてい る。	○	今後も移り住むダメージを最小限に抑えられるよ う情報提供等を積極的に行っていく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	一人一人の尊厳を大切にした対応を行っている。 また、個人情報の取り扱いにも注意し、外部に漏 れないようにしている。	○	今後も一人一人の尊厳を大切にしていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	日常の会話の中から本人の思いを聞くように努め ている。また、本人に合わせた説明を行い、小さ なことも自己決定ができるよう支援している。	○	今後も本人の思いや自己決定を大切にし、納得し て生活ができるよう支援していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	職員側の都合を優先するのではなく、出来る限り 利用者の希望を取り入れる。	○	今後も、一人一人のペースを大事にし、希望に合 わせた支援をしていく。
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	本人が着たい衣服を選べるよう支援したり、行事 や外出の際、おしゃれをする等している。また、 理容・美容も利用者の望む店がある場合は、個別 に支援している。	○	今後も、その人らしい身だしなみができるよう支 援していく。

グループホームにいうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備、食事、片付けを行い、利用者の希望に合わせて、メニューを変えている。又、希望献立の実施をしている。	○	今後も、利用者の希望に合わせた食事メニューを提供していく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の希望に沿って、お酒、おやつ等は、対応し支援している。	○	今後も利用者の希望に合わせ、日常的に楽しめるよう支援していく。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要に応じて、排泄状況を記録し、パターンをつかんでいる。又、それに合わせて、声掛け、誘導を行っている。	○	今後も、継続して排泄のパターンを把握し、声掛け、誘導を行っていく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望、ペースに合わせて入浴よくしている。	○	今後も本人の希望沿った入浴できるよう支援していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の休息時間を把握し、安心して眠れるよう環境を整えている。	○	今後も継続して、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう環境を整えていく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	楽しみ事を日々の生活の中で取り入れられるよう支援している。又、食事の盛り付け、食器洗い、食器拭き、洗濯物たたみ等、様々な場面において、それぞれが役割をもっている。	○	今後も継続して、家事、楽しみ事を日々の生活の中で取り入れるよう支援していく。

グループホームにいうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の金銭管理の力量を検討し、小銭程度でも持って買い物の時に支払えるよう家族とも相談し取りくんでいる。	○	今後も金銭管理の力量に応じて、お金を所持して使用出来るよう支援していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に対して、出来るだけ外出するようにしている。	○	今後も希望に合わせて、外出できる機会を作れるよう支援していく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があれば、事前に計画をし、外出の機会を作っている。	○	利用者の希望を大事にし、実現できるよう計画、支援していく。又、家族とも相談し、取りくんでいく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいという要望があれば、電話を貸している。又、個々に家族、親戚等に葉書を出す支援をしている。	○	今後も利用者の希望に合わせ、電話や手紙の対応を支援していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間に制限なく、いつでも訪問できる環境である。又、訪問時は、ゆっくりと過ごせるように配慮している。	○	今後も居心地良く過ごせてもらえるような環境を整えていく。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理解し、拘束しないケアに取りくんでいる。	○	今後も拘束しないケアに取りくんでいく。

グループホームにしうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一人ひとりの居場所を確認している為、日中は玄関のテンキーロックを極力、切るようにしている。	○	利用者の状態により日中はテンキーロックを切るようにして行く。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して利用者全員に目が届く場所で見守りを行い、常に両者の所在を把握し、安全に過ごせるよう支援している。	○	今後も、安全確認をしっかり行っていく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物は、注意を払って保管している。	○	今後も状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしていく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時対応のマニュアルがあり読み合わせている。又、ヒヤリハットの報告があった場合、全職員で情報を共有し、再発防止に心掛けている。	○	今までの報告書を分析する等して、事故が起こらないよう取り組んでいく。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	毎年、消防署による救急法の勉強会を実地し、訓練を行っている。	○	今後も救急法の勉強会を継続して行っていく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回防災訓練を実施し避難できる方法を身につけている。	○	今後も防災訓練の実施をし地域の協力を得られるよう働きかけていく。

グループホームにいうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	転倒等の危険、高齢のため何かがあってもおかしくないこと等については面会時に話している。	○	出来る限り抑圧感のない自由な暮らしが出来るように取りくんで行きたい。
維持				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異変発見時には、情報を共有し、速やかに対応し、場合によっては看護師や医師に指示をあおいでいる。	○	今後も、小さな変化にも速やかに対応し、重度化しないようにしていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれの服薬の処方箋を把握し、いつでも目が通せる状態にはしてある。何か変化がある時は、家族を通じて主治医に伝わるように取り計らっている。	○	今後も、服薬の変更ある場合は、その都度副作用、用法、容量を把握し、症状の変化を確認していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	冷やした牛乳、水分を多く摂るよう声掛けし、便秘の予防に取りくんでいる。	○	今後も便秘の予防の工夫に取りくんでいく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	利用者に出来る事は手伝ってもらい、保清が不十分な所は、介助し、清潔を保っている。又、定期的に義歯の洗浄剤を使用している。	○	今後も継続して、口腔内の清潔の保持に努めていく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事、水分摂取量は、把握しており、1日を通して確保できるよう促す。	○	栄養摂取や、水分確保が出来るよう今後も支援していく。

グループホームにいう敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	年1回インフルエンザの予防接種を、全員行っており、それ以外の感染対策についてもマニュアルを作成し、実行している。	○	今後も、マニュアルに沿って感染症の予防を行う。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は、きちんと洗浄し、食材は、新鮮で安全な物を使用し、食中毒予防に努めている。又、布巾は毎晩消毒し、まな板も毎晩、熱湯消毒している。肉、野菜のまな板を区別しています。	○	今後も食材の衛生管理には、注意していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホーム内は家庭的であり、玄関、建物外にはプランターがある。	○	今後も親しみやすく、安心して出入りできるような玄関、建物周囲の工夫をしていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った装飾品を飾り、季節感を取り入れ、照明、材質等も温かみを感じられるものを使用している。	○	利用者にとって居心地の良く過ごせるような環境を今後も整えていく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者自身がくつろげる場所を確保している。（居間、日当たりの良い廊下等）	○	今後も、利用者が思い思いに過ごせる環境を整えていく。

グループホームにいうち敬老園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力もあり、利用者それぞれに合った居室作りができています。	○	今後も、利用者の希望に合わせた食事メニューを提供していく。居室作りを行っていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに換気を行い、空調も直接風が当たらないように配慮している。	○	今後も、こまめな換気と、空調の管理を行っていく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっており、廊下には全面手すりを備えつけ、安全な生活が送れるよう配慮している。	○	安全かつ出来るだけ自立した生活を送れるよう工夫していく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ等の貼り紙をして、分かりやすくし、混乱や、失敗を防ぐ工夫をしている。	○	今後も混乱や、失敗を防ぐ工夫をしていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外庭には、物干し、鉢植えがあり、利用者それぞれが、役割を持って参加している。	○	今後も外庭等の活用の工夫をしていく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームにいうち敬老園

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

食事、おやつなどは昔は家庭で手作りをしていた、うどん打ち、おやき作りを毎月の中で取り込み入居者の方と一緒にやっている。